



デジタルビジネス・プラットフォーム 特集に寄せて

執行役員常務

松本 端 午

1990年代にインターネットの普及から始まったデジタル化の波は、人びとをつなぐことで一人ひとりのニーズに細かく対応できる新しいビジネスモデルを生み出しました。それは、モバイルインターネットへと進化し、スマートフォンを使っていつでも、どこでもネットワークに接続して多種多様なサービスを受けることを可能にしました。

そして2010年代に入り、IoT (Internet of Things) の時代を迎えています。そこでは、現物 (Physical) とデジタルの融合が一気に進み、データが媒体となって今までの企業や業界といった枠組みを超えてあらゆるものがつながっていきます。その結果、それまでには考えも及ばなかった新しい価値を生み出すことが可能になりました。

さらにデジタル化は、その結果生まれる大量のデータを活用する機械学習やAI (Artificial Intelligence : 人工知能) など、人間の知的活動を支援して新しいインテリジェンスを生み出そうという領域にまで到達しています。そして、これらのデジタル化を支えるクラウド、モバイル、ビッグデータ、IoT、AIといったデジタルテクノロジーは、一部の領域に止まらず、広く産業・社会の全体に波及し、新たな産業革命、すなわちデジタル革新 (Digital Transformation) を引き起こしていきます。

富士通は、お客様自身のデジタル革新を実現する新たなデジタルビジネス・プラットフォームFUJITSU Digital Business Platform MetaArc (以下、MetaArc) の提供を開始しました。デジタル革新の時代には、新しいサービスを必要とされるタイミングで即座に提供できる即応性や、組織や産業の枠を超えてプロセスや情報をつないで活用できる柔軟性が求められます。MetaArcには富士通の技術・ノウハウ・サービスのすべてを結集していることはもちろん、広くパートナーの皆様と連携し、グローバルなエコシステムを形成しています。

デジタル革新の本質は、技術革新ではありません。人々の働き方や生活、組織や事業のプロセス、お客様やパートナーの皆様との関係を変革し、社会の価値を生み出す方法を変えていくということです。富士通は「ヒューマンセントリック」というビジョンを掲げてまいりました。すべてを「人を起点に」考えようということです。AIが発達し、システムの自動化、自律化が進んでいく時代だからこそ、テクノロジーが人を正しく支え、力づけ (Empower)、人がテクノロジーの力を借りてより高い創造性や能力を発揮できるようにすることを目指しています。

安心・安全は当然のことながら、ビジネスプラットフォームとして皆様に継続して使っていただくためには、社会の進化とともに信頼を増し、成長し続けるものでなければなりません。人びとの生き活きとした活動を、富士通のデジタルビジネス・プラットフォームMetaArcがしっかりと支えてまいります。